

大学と地域の協働による取組に助成金を交付します！ 2008年度 大学地域連携モデル創造支援事業

■大学地域連携モデル創造支援事業の趣旨・目的

京都市では「大学のまち・わくわく京都推進計画」に基づき、2004年度から大学と地域との連携による取組に助成金を交付する「大学地域連携モデル創造支援事業」を実施してきました。この事業は、大学にとっては実践的な教育・研究機会の確保による人材の育成などを、地域にとっては大学の研究成果等による課題解決などを促進すること及びこの取組を各区基本計画にある個性を生かした魅力ある地域づくり事業と関連付けることで、各区基本計画の推進に役立てるとともに、事業成果を広く市民に周知することにより、大学と地域との連携をより促進することを目的とします。

■2007年度の事業結果

1. 取組の募集と採択

2007年4月27日～6月1日にかけて、下記のいずれかに該当するグループ等を対象に、本事業の支援対象となる取組を募集しました。

●地域住民で構成される団体・グループ

2007年度は合計30件の申請があり、下表の10件を助成対象として採択しました。



採択後の認証式にて

番号	取組名	行政区	申請団体	申請概要	協力団体等
1	紫明まちづくりプロジェクト～マルチメディアによる情報配信～	北区	大谷大学 文学部 人文情報学科 松川ゼミ	紫明地域の文化・歴史及び北大路商店街の魅力を、複数のメディアを利用して取材・発信していくことにより、大学と地域との連携を促し、交流の深化とまちづくりの活性化を図る。また、大学内での交流拠点の設置、交流イベントの実施を行う。	北大路商店街振興組合
2	大原アートネットワーク事業ー「大原地域文化祭」の開催と「大原文化資料館」づくり	左京区	大原地域文化祭・ 大原文化資料館 実行委員会	大原中学校の文化祭に参加し、地域住民が中学校・小学校の生徒とともに文化祭を盛り上げることを目指す。また「大原文化資料館」の設置により、生徒や地域住民が様々な文化に触れる機会を創出するなど、文化芸術活動を介して、世代横断的な協働を生み出す。	同志社大学大学院総合政策科学研究科ソーシャル・イノベーション研究コース、大原古文書研究会、NPO法人京都大原里づくり協会、京都市立大原小学校、京都市立大原中学校
3	三条まちなか連携にぎわいルネッサンスプロジェクト	中京区	京都工芸繊維大学 佐々木まちづくり 研究室	現地調査に基づく地図作りをインターネットと連携させることにより三条通の魅力や商店街のポテンシャルを発掘する「リアル・バーチャルマップ」や、「おもしろ写真コンテスト」などの取組により、「三条通」の賑わいを復興させる。	三条通を考えよう会、 京の三条まちづくり協議会
4	本能のまちに咲くのれんの華	中京区	本能まちづくり学生 サポート隊(京都府 立大学宗田研究室・ 立命館大学乾ゼミ)	「親子「のれんの華」ラリー」「のれん染めワークショップ」「のれん里親制度」などの事業を実施し、新たに移り住んできた住民や若者世代に、地域の特色や魅力を認識してもらうとともに、地域の活動に関わる機会を提供していく。	本能まちづくり委員会
5	まちなか授業「ポジティブメイク」	中京区	池坊短期大学 環境文化学科 タミー木村ゼミ	施設に入所している高齢者に対して化粧を施すことにより、高齢者への前向きな心の支援を行うとともに、化粧を通じて地域社会における高齢者と学生とのコミュニケーションを図る。また、社会に役立つ化粧技術のスキルアップを図る。	京都市本能特別養護老人ホーム
6	近代産業遺産アート再生プロジェクト「まか通」	東山区	近代産業遺産アート 再生プロジェクト 「まか通」	六原地域に数多く存在する近代産業遺産や、歴史的名所、そこに根ざす文化・伝承などを掘り起こし、「六原にしかない素材」を主眼にしたイベントの企画を行うことにより、より多くの人に六原地域を訪れてもらうなど、地域の魅力の深化を図る。	京都造形大学プロジェクトセンター、六原学区自治会、藤平陶芸、西福寺
7	祇園祭綾傘鉾をもちあげる京都学フィールドワーク	下京区	佛教大学 八木研究室 (有志学生)	鉾町における住民の減少、高齢化による祇園祭運営の困難化に対し、多数の学生が参加することにより運営を支援し、情報発信により祭りを盛り上げる。今年度は、4ヶ国語によるホームページを作成することで海外への情報発信を行っていく。	祇園祭綾傘鉾保存会
8	大枝03	西京区	京都市立芸術大学 大枝アート プロデュース研究会	高齢化が進む中、高速道路建設が進むなど変化する地域において、新しいアートと地域の関係を探る試みを通じて、総合的に地域の環境を高めていく。地域を歩き体感することによる地域資源の発掘、地域資源マップの作成、写真ワークショップなどを実施する。	大枝アートプロジェクト 実行委員会、 にしきょう・ねっと
9	洛西ニュータウン・まちづくり活動ネットワーク構想	西京区	京都大学大学院工学 研究科 都市環境工学専攻 居住空間学講座	洛西ニュータウンにおいて個人・団体が行っているまちづくり活動の実態把握を行い、公開イベントの開催を通じて、洛西ニュータウンにおける「まちづくり活動ネットワーク」を構築することにより、活動を持続可能なものにしていく。	洛西ニュータウン創生推進委員会
10	伏見・風とお日さまエネルギー・プロジェクトー地域企業との連携による環境教育計画ー	伏見区	龍谷大学・ 伏見新エネルギー 研究会	小中学生向けに環境教育を行うための、自然エネルギーによる発電のしくみを教えるプログラム・教材の作成と講演会の開催。また自然エネルギーの産地地消の課題を明らかにするため、地元住民が環境関連産業をどの程度認識しているかという意識調査を実施する。	京エコロジーセンター、生田産機工業株式会社、京セミ株式会社、京都市立竹田小学校、京都市立藤ノ森小学校、京のアジェンダ21フォーラム

2. 採択した取組の紹介

(1) 紫明まちづくりプロジェクト～マルチメディアによる情報配信～

【取組内容】

紫明地域の文化・歴史や北大路商店街の魅力を配信することを目的とした、フリーマガジン・動画ストーリーミング・Webページの作成、地域交流座談会の開催、学生の大学周辺店舗利用状況調査の実施、大谷大学学園祭での展示・講演会など

【取組の成果など】

- ①北大路商店街の方々に制作したメディアを見てもらうことにより、地域への関心を深めてもらうことができた。
- ②大学機関内への呼びかけや、イメージキャラクターの公募を行うことにより、大学職員・学生の地域交流への関心が深まった。
- ③大谷大学学生による、大学周辺店舗の利用者が増えたとの声があった。



- ③「まちなかを歩く日」イベントなどの共同開催、インターネットメディアでの連携、店頭ポスターといった共通広報メディアの作成など、烏丸通の東西の地域に連帯感・一体感を生み出すための、新しい地域イベント企画が実現できた。



(4) 本能のまちに咲くのれんの華

【取組内容】

地域に詳しい方を案内人として、普段公開されない寺院・知られざる地域の名所を散策する「わがまち本能探検隊」の開催、染色業を営む職人の協力による実際にのれんを染める小中学生対象のワークショップ開催、のれんを使った色当てゲーム・スタンプラリーなど小中学生と保護者を対象とした「親子「のれんの華」ラリー」の開催など

【取組の成果など】

- ①実際にのれん染めを体験することで、のれんに対して親近感を感じてもらうことができた。
- ②色当てゲームでは、小中学生245名の参加があるなど、数多くの子どもが、地域の誇りであるのれんに親しむことができた。
- ③学生が作成したちらしを見て参加したというアンケート結果から、学生の広報活動が効果的であった。
- ④地域についてさらに知りたいという意見があるなど、自分の地域に興味を持つ人が増えた。



(2) 大原アートネットワーク事業

—「大原地域文化祭」の開催と「大原文化資料館」づくり

【取組内容】

地区住民・地区内外の作家からの地域文化祭への展示作品募集、文化祭に向けた広報イベントとしてギャラリーでの作品展示、小中学生・地域の活動家によるパネルディスカッション、「大原文化財」の認定・保存など

【取組の成果など】

- ①従来から地域活動が盛んではあったが、個別に活動をしている感があったところ、地域文化祭を連携して実施したことにより、地域活動団体の協働を生み出すことができた。
- ②大原小中合同文化祭における地域の人の作品出品は減少傾向にあったが、今回、展示室がいっぱいになるくらいの出品があるなど、地域の人の文化祭に対する関心を醸成できた。また、これらの出品作品に対する小学生からの評価も高かった。
- ③子どもたちの意見を地域づくりに活用するため、パネルディスカッションを開催し、子どもと大人が語り合う場を生成することができた。



(3) 三条まちなか連携にぎわいルネッサンスプロジェクト

【取組内容】

ピンホールカメラ撮影体験イベント、写真現像中にカフェでもてなす「もてなしカフェ」、「ピンホール写真で今昔の三条通り再発見」の展示イベントの実施。また、地域の実態を網羅した案内地図として三条通マップの作成、三条通の現存の風景とともに写真を撮ることでまちの記録を残し、発信・継承していくための「ゆかたde人力車」写真撮影・コンテストの実施など

【取組の成果など】

- ①各イベントを通じて、地域の人々にまちづくりへの参加を促す仕掛けづくりができた。
- ②地域の人々に地域の歴史・文化を共通の資産として認識してもらうことができた。

(5) まちなか授業「ポジティブメイク」

【取組内容】

高齢者に前向きな気持ち、明るい表情を保ち続けてもらうため、特別養護老人ホームにおいて学生によるメイク施術の実施。実施前における、メイクの注意点、メイク方法、道具の扱い等の事前学習の実施など

【取組の成果など】

- ①高齢者が化粧された自分の顔を見て大変喜ばれるなど、前向きな心の支援ができた。
- ②化粧を通じて地域社会における高齢者と学生とのコミュニケーションを図ることができた。
- ③学生が社会に役立つ化粧技術のスキルアップを果たし、人間的成長が見られた。



(6)近代産業遺産アート再生プロジェクト「まか通」

【取組内容】

「陶器で作る楽器教室」「まちの音で作る音楽会」など全12回にわたる多彩なワークショップの開催。また、六原学区の秋祭りである六原フェスタにおける、100名以上の小学生とのキャンドル作りワークショップの実施、六原のまち歩きの魅力伝える小冊子の製作など

【取組の成果など】

- ①企画したイベントの告知、新聞・フリーペーパーへの記事掲載により、六原地域の内外へ広く六原の魅力を伝えることができた。
- ②町の歴史や、風習の由来の再確認を行うことができた。
- ③地域に伝わる伝承・文化を題材として、観光事業を企画し、集客することができた。



域の人々に芸術教育や芸術の役割に関心を深めてもらえるようになった。



(9)洛西ニュータウン・まちづくり活動ネットワーク構想

【取組内容】

洛西ニュータウンで活動している主な団体のメンバーに対するヒアリングによる、活動内容・活動場所・活動年表などについての調査と、まちづくり情報活動パネルの作成。また、ラクセーヌ商店街におけるパネル展示、リーフレットの配布、活動報告会の実施など

【取組の成果など】

- ①まちづくり活動がどのようなプロセスで始動したのかなど、今後のまちづくり活動の参考となる情報を提供できた。
- ②これまで学区を越えた活動の連携が難しかったが、他学区の情報提供をすることにより、他学区のノウハウを活かした活動をしていきたいという意見が出てきた。
- ③パネル展示の機会をラクセーヌ商店街・イベントプラザで得られ、また、洛西ニュータウン創生推進委員会の活動報告会で発表する機会を得たことにより、調査の成果を地域の多くの住民に伝えることができた。



(7)祇園祭綾傘鉾をもちあげる京都学フィールドワーク

【取組内容】

毎年多くの外国人観光客が訪れる祇園祭や鉾について、情報源となり得るWebサイト上に多言語での紹介サイトを作成することによる、山鉾巡行だけではなく祇園祭全体についての国内外への情報発信など

【取組の成果など】

- ①民俗学の本格的なフィールドワークを継続して実施した。
- ②祇園祭の運営側へ学生が参加することにより、伝統文化の継承と、地域活性化に貢献できた。
- ③高齢者と学生という世代間における、祭りを通じた交流ができた。
- ④4ヵ国語でのWebサイトを作成することにより、祇園祭と鉾について、国内外への情報発信を行った。



(10)伏見・風とお日さまエネルギー・プロジェクト

—地域企業との連携による環境教育計画—

【取組内容】

小学生向けの自然エネルギーに関する授業に用いる模型風車の開発、小学校への出前授業の実施、また、地域にある環境関連機器産業について地元住民がどの程度認識しているのかに関するアンケート調査の実施など

【取組の成果など】

- ①出前授業をすることによって、地域の企業と、大学、児童が交流する場を設定することができた。
- ②地域の企業や、ボランティアの方々の協力により、授業で使うための模型風車を製作した。
- ③地域の環境関連産業に関する調査を実施したところ、学生、地域住民への認知度がまだまだ低いことが分かった。
- ④伏見eco市等への参加・出展を行い、地域の環境関連機器産業の周知・広報ができた。



(8)大枝03

【取組内容】

地域にとって、芸術大学が協働して地域の魅力を発掘・発信していけるパートナーであることを示し、また芸術を学ぶ学生にとって、地域社会との関係の中で芸術の可能性を探っていくための、「ダンスワークショップ」「てのひらかフェ」「おおえ博士になろう！」などのイベント開催など

【取組の成果など】

- ①「おおえ博士になろう！」は、地元の古老に話を聞かなか埋もれた地域の魅力を掘り起こし、新たなコミュニケーションや表現につなげるとともに、住民自身に芸術への関心を喚起し、プロジェクトへ協力・参加をしてもらうきっかけづくりになっている。
- ②学生にとっては、地域の風景のなかに入って表現活動を行うことで、芸術活動の新しいモチベーションとして、また未来の芸術の役割をさぐるためにも、地域の人々や環境との交流の大切さが自覚できるようになった。
- ③地域の人々と学生が直接的なコミュニケーションを重ねるなかで、地

2008年度 大学地域連携モデル創造支援事業への応募について

2008年度事業の募集を下記のとおり行います。詳細については募集要項を参照の上、ご応募ください。

応募対象

応募にあたっては、申請事業の実施主体が次の条件に該当・遵守することが必要です。

- ◆下記のいずれかに該当する団体・グループであること。
 - (財)大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学の団体・グループ
(大学部署、研究室、ゼミ、クラブ、学生サークル等)
 - 地域住民で構成される団体・グループ
- ◆団体として1年程度以上の活動実績・自己資金を有すること
(申請事業自体は新規でも可)。
- ◆適正な経理処理・事業報告ができること。

対象事業

2008年度中に京都市内で実施される、次の要件に該当する事業を対象とします。ただし、政治活動・営利事業等を目的とするものは除きます。また、特に大学と地域との深い協働がなされ、かつ当該事業が地域活性化に貢献するものが望まれます。

- ◆大学又は地域団体が実施する、大学と地域住民が連携・協働して取り組む事業で、各区基本計画にある個性を活かした魅力ある地域づくり事業と関連したもの



例:保健・福祉、社会教育、まちづくり、学術・文化・芸術又はスポーツの振興、環境保全、地域安全等の様々な分野における調査研究、市民講座、イベントなど

- ◆先進性を有し、他の地域のモデルとして応用、展開が期待されるもの
- ◆継続性及び発展性が期待できるもの

選考方法

選考委員会を設置し、応募書類を書類選考します

助成件数

8～10件

助成金

1件につき概ね10～30万円の範囲で助成金を交付します(申請額を減額して交付することがあります)。

申請手順

- ① 区役所・支所、キャンパスプラザ京都等で配布の募集要項・申請書入手し、募集要件を確認してください((財)大学コンソーシアム京都のホームページからも入手できます)。
- ② 申請しようとする事業について、各区役所における「各区基本計画」の担当課を訪問・面談のうえ、意見交換を行ってください(意見交換の内容は申請書に記載してください)。
- ③ 申請書に必要事項を記入し、申請書を【7部】用意の上、(財)大学コンソーシアム京都へ【郵送】にて提出してください(持参・メール等での提出は不可)。

注:複数の団体・グループが連携して助成対象事業に取り組む場合は、いずれかの団体・グループが代表して応募してください。

受付期間

2008年4月25日(金)～6月4日(水)(必着)

URL

<http://www.consortium.or.jp>

申込等一般のお問合せ先

財団法人 大学コンソーシアム京都 リエゾン・オフィス(月曜休)
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下るキャンパスプラザ京都
TEL 075-353-9163 FAX 075-353-9101
E-Mail:<liaison@consortium.or.jp>

本事業の企画等へのお問合せ先

京都市 総合企画局 政策推進室
TEL 075-222-3103 FAX 075-213-0443



財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto